

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
専門学校 トヨタ神戸自動車大学校	平成4年9月16日	大塚生介	〒651-2102 神戸市西区学園東町4丁目1番地 (電話) 078-796-2121																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人 トヨタ神戸整備学園	平成4年9月16日	理事長 横山裕行	〒651-2102 神戸市西区学園東町4丁目1番地 (電話) 078-796-2121																								
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
工業	工業専門課程	自動車整備科		平成20年2月26日 文部科学省告示 第12号	—																						
学科の目的	21世紀の業界を背負って立つ人材の育成 業界の中核として将来は管理職、経営者の輩出																										
認定年月日	平成27年2月17日																										
修業年限	昼夜	講義		演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	700時間		550時間	1220時間	—	—																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
500人		401人	37人	20人	30人	50人																					
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 科目毎に履修判定試験を行い、60点以上を合格とする また評定基準は下記のとおりする 優 評価:100～80点 良 評価:79～70点 可 評価:69～60点 不可 評価:履修試験不合格																						
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月19日 ■冬季:12月21日～1月6日 ■学年末:3月31日		卒業・進級 条件		◆進級 各学年毎に、定められた全科目の修得試験に合格しており、 各学年における補講を含めない正規授業への出席率は、8 0%以上であること																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別面談、電話・メール連絡 自宅訪問、保護者連携		課外活動		■課外活動の種類 スーパーGTメカニック体験、米国NASCAR研修、レース観戦 ■サークル活動: 有																						
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(2018年度卒業生) 自動車販売会社、自動車整備工場、自動車メーカー、評価会社 ■就職指導内容 挨拶・身だしなみ、職業理解講座、会社訪問、個別面談、履歴 書添削、面接指導 ■卒業者数: 210 人 ■就職希望者数: 173 人 ■就職者数: 173 人 ■就職率: 100 % ■卒業者に占める就職者の割合: 82.4 % ■その他 ・進学者数: 36人 ・就職意思なし: 1人		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (2018年度卒業者にに関する2019年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二級ガソリン自動車整備士</td> <td>②</td> <td>209人</td> <td>209人</td> </tr> <tr> <td>二級ジーゼル自動車整備士</td> <td>②</td> <td>209人</td> <td>209人</td> </tr> <tr> <td>低圧電気取扱安全衛生教育</td> <td>③</td> <td>210人</td> <td>210人</td> </tr> <tr> <td>トヨタサービス技術検定3級</td> <td>③</td> <td>210人</td> <td>210人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のい ずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得する もの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	二級ガソリン自動車整備士	②	209人	209人	二級ジーゼル自動車整備士	②	209人	209人	低圧電気取扱安全衛生教育	③	210人	210人	トヨタサービス技術検定3級	③	210人	210人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
二級ガソリン自動車整備士	②	209人	209人																								
二級ジーゼル自動車整備士	②	209人	209人																								
低圧電気取扱安全衛生教育	③	210人	210人																								
トヨタサービス技術検定3級	③	210人	210人																								
中途退学 の現状	■中途退学者 12 名 2018年4月1日時点において、在学者408名(2018年4月入学者を含む) 2019年3月31日時点において、在学者396名(2019年3月卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学業不振、進路変更、体調不良、経済的理由等		中退率 2.9 %																								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ①指定校特別奨学金〔2018年度〕授業料減免20万円×2年間 ②成績優秀生奨学金〔2018年度〕(授業料減免25万円×2年間) ③九州沖縄帰省費支援〔2018年度〕(1万円×3回×2年間) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 [2018年度実績 1名] ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科の ホームページ URL	URL: http://www.toyota-kobe.ac.jp/																										

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
自動車整備業界に関し知見を有する団体(兵庫県自動車整備振興会等)、及び主な就職先であるトヨタ販売会社の役職員を含む「教育課程編成委員会」を設置して①就職先企業等において求められる人材像と専門性の動向②国または地域の産業振興の方向性③新技術の導入・普及に伴い新たに必要となる実務に関する知識、技術、技能④その他教育課程に関する事項を十分に把握、分析し、企業等の委員の意見を踏まえて教育課程(授業科目、授業内容、方法)を編成し、実践的かつ専門的な職業教育の質の向上を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

- この委員会は、自動車整備科の授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を審議し、次年度以降の教育課程編成案を作成する。
- 前項において、まず企業等の委員からの意見を求め、学校側委員との意見交換を経て十分に相互理解を図るものとする。
- 自動車整備科の教育課程編成案の作成においては、「業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員」または「専攻分野に関する学会や学術機関等の有識者」から1名以上、「実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員」から1名以上選任した委員の意見を踏まえるものとする。
- 次年度の教育課程編成案の最終案は、学校側委員がとりまとめ校長の決裁を受けるものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
井場元 彰久	一般社団法人 兵庫県自動車整備振興会	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	①
金井 隆行	兵庫トヨタ自動車株式会社	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	③
平 勝治	神戸トヨペット株式会社	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	③
大塚 生介	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	
鈴木 二郎	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	
山口 裕行	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	
杉原 徹	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	
澤田 晃宏	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	
長澤 哲也	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	
谷川 嘉夫	専門学校トヨタ神戸自動車大学校	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- 学会や学術機関等の有識者
- 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

- 第1回 2019年7月4日 13:00～15:30
第2回 2019年9月(予定)
第3回 2020年1月(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- 安全意識を高く持ち、就職後も事故を起こさない学生を育成するために、安全教育の骨子を策定、教育内容を充実。
- 新技術への対応として、運転支援システム(TSS・ISC)に関する教育、エーミング作業を教育課程に取り入れ。
- トヨタ技術検定3級試験を2年間の総仕上げとして実施。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- 学校で修得した知識・技術・技能や顧客応対を実践し、学校の授業と実際の現場との関連・違いを身をもって体験すること
- 社会人意識及び職業意識の高揚を図ること

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

2年次に各学生の就職内定先を実習先として、学校で修得した知識・技術・技能や顧客応対を実践。その中で社会人意識や職業意識の高揚に取り組んでいる。
【インターンシップの実施内容】主に洗車、オイル交換、定期点検の一部などの実作業とサービス業務全般の流れの理解とする。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ	内定先企業において、定期点検作業、多頻度作業、お客様対応業務などの実務を経験する。	兵庫トヨタ自動車株式会社 神戸トヨペット株式会社 トヨタカローラ兵庫株式会社 トヨタカローラ姫路株式会社 ネットトヨタ兵庫株式会社
		ネットトヨタ神戸株式会社 ネットトヨタソナ神戸株式会社 トヨタL&F兵庫株式会社 大阪トヨタ自動車株式会社 大阪トヨペット株式会社
		トヨタカローラ大阪株式会社 トヨタカローラ新大阪株式会社 ネットトヨタ大阪株式会社 京都トヨタ自動車株式会社 京都トヨペット株式会社
		ネットトヨタ京華株式会社 滋賀トヨペット株式会社 トヨタカローラ滋賀株式会社 ネットトヨタ滋賀株式会社 和歌山トヨタ自動車株式会社
		鳥取トヨタ自動車株式会社 トヨタカローラ鳥取株式会社 ネットトヨタ鳥取株式会社 鳥根トヨタ自動車株式会社 岡山トヨペット株式会社
		ネットトヨタ岡山株式会社 広島トヨペット株式会社 ネットトヨタ中国株式会社 トヨタカローラ山口株式会社 香川トヨタ自動車株式会社
		徳島トヨタ自動車株式会社 トヨタカローラ徳島株式会社 愛媛トヨタ自動車株式会社 愛媛トヨペット株式会社 トヨタカローラ愛媛株式会社
		高知トヨタ自動車株式会社 高知トヨペット株式会社 ネットトヨタ高知株式会社 石川トヨタ自動車株式会社 トヨタ自動車九州株式会社
		トヨタカローラ福岡株式会社 大分トヨタ自動車株式会社 ネットトヨタ宮崎株式会社 大阪ダイハツ販売株式会社 兵庫ダイハツ販売株式会社
		神戸日野自動車株式会社 大阪日野自動車株式会社 広島日野自動車株式会社 アベイズム株式会社 一般社団法人日本自動車連盟関西本部
		広島スバル株式会社 株式会社ホンダカーズ兵庫 渡瀬レッカーサービス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学校は、教育の目的及び教育目標を達成するために、教員の能力向上に努めるものとし、「教員研修規則」を定め、毎年度計画的に教員研修を実施する。

研修は、企業等との積極的な連携により①専攻分野における実務に関する知識・技術・技能、②授業力や指導力を修得・向上することを目的として実施し、より実践的な職業教育の質の向上に資するものとする。

なお、各々の教員が受講する研修は、教員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて決定するものとする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

対象	内容	人数	期間	連携内容
授業担当教員	自動車業界の動向とエーミング基礎知識セミナー	1	2018年6月26日	兵庫県自動車青年会議所主催の研修
全教員	コネクティッド技術に関する研修	19	2018年8月20日	トヨタ新大阪販売ホールディングスに依頼
授業担当教員	トヨタ自動車サービス技術研修(多重通信)	1	2018年8月27日～29日	トヨタ自動車株式会社主催の研修
整備主任選任者	整備主任者研修会(法令)	1	2018年11月22日	兵庫県整備振興会主催の研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

対象	内容	人数	期間	連携内容
室長	初年次教育セミナー(低学力層への指導)	1	2018年7月26日	ベネッセグループ先進研アド主催の研修
全教員	教員教養講座	19	2018年8月2、3、6、7日	社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会主催の講習会
室長	日本語教育・職業教育国際シンポジウム	1	2018年11月9日	一般社団法人職業教育・キャリア教育財団主催の研修

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

対象	内容	人数	期間	連携内容
授業担当教員	トヨタ自動車サービス技術研修	1	2019年7月頃	トヨタ自動車株式会社主催の研修
授業担当教員	保安基準研修会	1	未定	兵庫県整備振興会主催の研修
整備主任選任者	整備主任者研修会(法令)	1	未定	兵庫県整備振興会主催の研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

対象	内容	人数	期間	連携内容
全教員	教員教養講座	20	2019年8月1、2、5、6日	社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会主催の講習会
経験5～10年程度の教員	中堅教員研修カリキュラム	1	未定	一般社団法人職業教育・キャリア教育財団主催の研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

トヨタ自動車ならびに就職先であるトヨタ販売会社、卒業生評議委員等のステークスホルダーを含む学校関係者評価委員会を設置して、実践的な職業教育を目的とした教育活動や学校運営について、社会のニーズを踏まえた目標設定ならびに、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さについて評価を受ける。さらに結果を公表することで社会への説明責任を果たすとともに、企業等の学校関係者の理解を深め、教育活動への連携・協力を得て学校としての組織的・継続的な改善を図るものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、組織運営、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム、目標の設定
(3) 教育活動	教育方法・評価等、成績評価等、資格・免許の取得指導、教員・教員組織
(4) 学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者との連携、卒業生・社会人
(6) 教育環境	施設・設備等、学外実習・インターンシップ等、防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8) 財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	関係法令・設置基準用の遵守、個人情報保護、学校評価、教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、ボランティア活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

① トヨタ検定3級レベルの作業目的の理解度向上のため、口頭試問や試験による修得度の確認を行う。

② 就職活動の前知識としてトヨタ4チャンネルの特徴を理解させるよう改善。

③ 寮生のバイク持込許可基準を見直し。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
松野 来	トヨタ自動車株式会社国内サービス部	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	企業
三宅 敏文	兵庫トヨタ自動車株式会社総務部	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	企業
平 勝治	神戸トヨペット株式会社営業本部	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	企業
原田 忠	トヨタ新大阪販売ホールディングス株式会社営業本部	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	企業・卒業生
中川 幸士	ネットトヨタ兵庫株式会社サービス営業部	2019年4月1日～2020年3月31日(1年)	企業・卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <http://www.toyota-kobe.ac.jp/outline/pdf/5.pdf>

(公表時期)

2019年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」を踏まえ、以下のことを目的として、教育活動及び学校運営に関する情報を積極的に公開する。

- ① 企業等の学校関係者の理解を深め、当校の実践的職業教育活動への連携・協力を得る。
- ② 公的な教育機関として、情報公開により社会に対する説明責任を果たし、社会的な理解・評価を促進して教育の質のさらなる向上につなげる。
- ③ 入学希望者とその保護者に適切な情報を提供し、能力・適性に応じた適切な進路選択に資するものとする。

なお、情報公開にあたっては、個人情報の取り扱いに十分留意するものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	「学校概要・沿革」、「教育理念」
(2) 各学科等の教育	「学科紹介(自動車整備科・高度自動車科)カリキュラム、設備・教材」、「就職・進路(就職実績)」、「情報公開(授業方法・内容及び年間計画・時間割)(入学整数・在学生数)(学習の成果として取得を目指す資格・検定)」
(3) 教職員	「情報公開(教職員数・組織図・教員の専門性)」
(4) キャリア教育・実践的職業教育	「就職・進路(就職支援)」
(5) 様々な教育活動・教育環境	「情報公開(学校行事への取り組み状況)」「キャンパス・寮情報(クラブ紹介)」
(6) 学生の生活支援	「情報公開(学生の生活支援への取り組み)」
(7) 学生納付金・修学支援	「学生募集要項(学生募集要項:入学金・学費等)(奨学金)」
(8) 学校の財務	「情報公開(決算書)」
(9) 学校評価	「情報公開(自己点検自己評価・学校関係者評価)」
(10) 国際連携の状況	「学生募集要項(学生募集要項:外国人留学生の方へ)」
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.toyota-kobe.ac.jp>